

第六回町民体育大会応援風景



編集兼発行人 朝日町役場内 大菅達二 印刷所 両越印刷 定価一部六円 送料四円

財政再建計画の

昭和三十三年度実施報告

一、総括的事項の実施に関する事項

1. 行政規模の合理化に関する事項

行政水準は全国水準を別途本計画に於て十四人の職員整理を画策されたが本年度に於いて一応これが目標を達成し財政の確立を期した。

2. 組織の簡素合理化に関する事項

支所において従来の重要業務であった税徴収事務は金庫の設置により、又戸籍事務については本庁に引揚げる等、支所は地区の連絡機関として職員一名程度とし、本庁の職制機構については従来の一室、一局、四課制を技術陣の統一を図るため、産業課を分離して建設課を新設し一室、一局、五課制とし、一層機能を發揮し得るよう改めた。

3. 職員配置の合理化に関する事項

職員配置については適時配置転換を行い、適材適所に配置し、各課相互間における事務の繁閑の生じないよう処置した。

4. 事務処理の能率化に関する事項

全職員の実務研修会を実施するとともに接遇研修等の現任訓練を行い、職員の素質向上と事務能率の増進を図った。

5. 予算の執行の合理化に関する事項

資金計画に適合した予算配当を行い常に収支の実状を把握し歳入の確保及び歳出の効率的運用により予算執行の合理化を図った。

二、歳出の抑制及び節減に関する事項

1. 消費的経費の抑制及び節減に関する事項

(一) 人件費の抑制及び節減に関する事項

本年度七名の退職者があつたが附属機関の職員三名の補充に止め、他は不補充とし、人件費の節減を図った。

(二) 物件費の抑制及び節減に関する事項

交際費、食糧費については必要最少限度に抑制するとともに需用費については燃料費の節減、通信費及び旅費については規制処置を購じ、用品調達についてはすべて見積入札により経費の抑制節減を図った。

(三) 補助交付金及び寄附負担金等の抑制及び節減に関する事項

補助交付金及び負担金に関しては県及び郡の規制審議会と連携し真にやむを得ないものは総て支出を制限し政令に規制された範囲内に圧縮した。

2. 投資的経費の抑制及び節減に関する事項

(一) 補助事業費の抑制及び節減に関する事項

補助事業費については国庫補助決定額及び起債許可額の範囲内で実施した。

(二) 単独事業費の抑制及び節減に関する事項

単独事業費については事業の効果に重点を置き、必要最少限度の額に止めた。

3. その他の経費の抑制及び節減に関する事項

(一) 繰出金の抑制及び節減に関する事項

繰出金については計画額の約六〇%に止め昭和三十四年度以降廃止する。

三、歳入の増収及び確保に関する事項

1. 税の増収及び確保に関する事項

(一) 税率の引上に関する事項

町民税の均等割は前年に引続き一人一〇〇円の引上を実施した。

(二) 課税標準の客体に関する事項

課税標準の客体に関する事項 課税標準の客体に関する事項 課税標準の客体に関する事項 課税標準の客体に関する事項 課税標準の客体に関する事項

(三) 徴収歩合の引上に関する事項

月間徴収状況の把握につとめ専ら納税組合の指導育成を図り徴収成績の向上に努め現年度分九六・八%の成績を収めた。

(四) 滞納整理に関する事項

滞納税については監戸督促を行い、それぞれ状況に応じ分納誓約、徴収猶予及び滞納処分等の行政処置を厳にし収納成績の向上を図った。

2. 税外収入の増収及び確保に関する事項

(一) 使用料の増収及び確保に関する事項

町営住宅、及び火葬場使用料については物価指数等の変動を考慮し適正料金を徴収した。

(二) 手数料の増収及び確保に関する事項

法令に規定されているものはその最高限度を徴収しその他のものについては類以団体と比較し通常以上に増収を図った

(三) 滞納整理に関する事項

延滞金、延滞加算金及び督促手数料等は法令の規定にもとづき厳重徴収した。

財政再建年次総合計画昭和33年度実施状況

歳入

(単位千円)

区 分	計 画 額		決 算 額		比 較 増 減 額	
	歳 入 額	うち一般財源として使用可能額	歳 入 額	うち一般財源として使用可能額	歳入額	一般財源として使用可能額
1. 町 税	73,303	69,012	76,213	70,402	2,910	1,390
(1) 普通年度分	72,683	68,392	75,593	69,782	2,910	1,390
(イ) 法定普通税	68,392	68,392	69,782	69,782	1,390	1,390
(ロ) 法定外普通税						
(ハ) 目的税	4,291		5,811		1,520	
(2) 財政再建のための増収分	620	620	620	620		
(イ) 超過課税分	620	620	620	620		
(ロ) 法定外普通税						
2. 地方交付税	24,412	24,412	24,412	24,412		
(1) 普通交付税	21,671	21,671	21,671	21,671		
(2) 特別交付税	2,741	2,741	2,741	2,741		
3. 地方譲与税						
4. 財産収入			72		72	
5. 分担金負担金						
6. 使用料手数料	3,334		3,470		136	
(1) 使用料	2,553		2,505		△ 48	
(2) 手数料	781		965		184	
7. 国庫支出金	11,662		10,869		△ 793	
(1) 普通建設事業支出金	795		630		△ 165	
(2) 災害復旧事業支出金	1,401		978		△ 423	
(3) 失業対策事業支出金	3,053		3,046		△ 7	
(4) その他の国庫支出金	6,413		6,215		△ 198	
8. 県支出金	2,737		3,198		461	
(1) 普通建設事業支出金	200		236		36	
(2) 災害復旧事業支出金						
(3) 失業対策事業支出金	91		91			
(4) その他の県支出金	2,446		2,871		425	
9. 寄附金	3,020		2,698		△ 322	
10. 繰入金						
11. 繰越金	2,996	2,996	2,985	2,985	11	11
12. 雑収入	717	521	791	521	74	
13. 地方債	1,000		1,000			
(1) 財政再建債						
(2) その他の債	1,000		1,000			
歳入合計	123,181	96,941	125,708	98,320	2,527	1,379

歳出

1. 消費的経費	71,702	57,410	71,128	56,004	△ 574	△ 1,406
(1) 人件費	31,820	27,509	31,439	27,124	△ 381	△ 385
(イ) 基本給	18,846	15,811	18,640	15,482	△ 206	△ 329
(ロ) その他の手当	5,552	4,383	5,407	4,380	△ 145	△ 3
(ハ) 退職手当	1,950	1,950	1,924	1,924	△ 26	△ 26
(ニ) 恩給及び退職料	35	35	38	38	3	3
(ホ) その他	5,437	5,330	5,430	5,300	△ 7	△ 30
(2) 物件費	25,641	20,435	25,562	19,760	△ 79	△ 675
(3) その他	14,241	9,466	14,127	9,120	△ 114	△ 346
2. 投資的経費	33,200	22,794	33,389	22,666	189	△ 128
(1) 普通建設事業費	24,938	20,334	25,957	20,311	1,019	△ 23
(イ) 補助分	2,950	1,685	2,657	1,371	△ 293	△ 46
(ロ) 単独分	21,988	18,649	23,300	18,580	1,312	△ 69
(2) 災害復旧事業費	3,020	362	2,206	266	△ 814	△ 96
(イ) 補助分	3,020	362	2,206	266	△ 814	△ 96
(3) 国直轄事業負担金						
(4) 失対事業費	5,242	2,098	5,226	2,089	△ 16	△ 9
(イ) 補助分	5,242	2,098	5,226	2,089	△ 16	△ 9
3. 公債	17,479	15,937	17,409	15,868	△ 70	△ 69
(1) 財政再建債元利償還金	10,599	9,057	10,597	9,056	△ 2	△ 1
(2) その他の債	6,880	6,880	6,812	6,812	△ 68	△ 68
4. 繰出金	800	800	500	500	△ 300	△ 300
歳出合計	123,181	96,941	122,426	95,038	△ 755	△ 1,903
歳入歳出差引残額			3,282	3,282	3,282	3,282

十月三十日午後二時より朝日町議会  
第六回臨時会を二十二名の出席議員  
により開く。



附議案

一、人権擁護委員候補者推薦のため  
意見を求める件  
一、朝日町監査委員選任のため同意  
を求める件  
人権擁護委員候補者には再度小沢弥

氏に決る。  
監査委員には南保四、八六八番地の  
土井宗太郎氏(五一才)を提案とお  
り同意され午後五時四十分閉会。  
秋の火災予防について  
日一日と寒さが身にしみるようにな

り、火が恋しくなるこれれからが火  
災の多い季節でもあります。  
今年も秋の全国火災予防運動が十一  
月二十六日と十二月二日の一週間に  
わたって行なわれます。  
今期の重点事項として

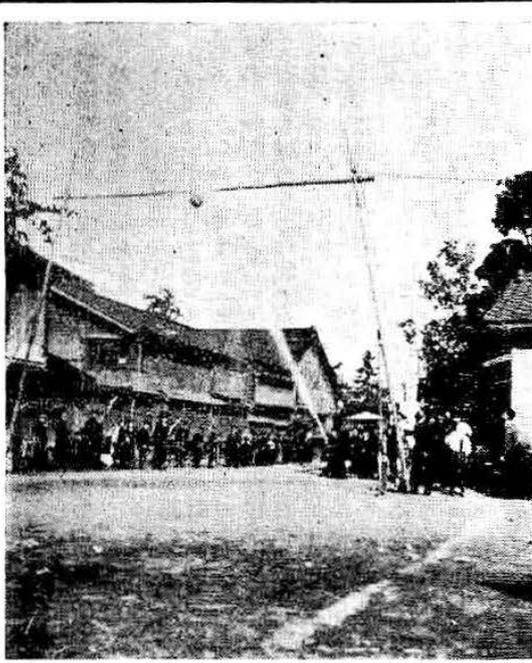
- (1) 危険物火災の防止
- (2) 電気火災の徹  
底防止
- (3) 官公庁、学校等の公共建物の火災  
防止
- (4) 火災の早期通報
- (5) 消防の準備態勢の強化

となつています。  
週間に消防(職)団員が各戸の査察を行いますから皆様の御協力を御願ひします。  
又午前七時、午後九時の二回、週間中、左の方法でサイレンを吹鳴します。  
吹十五秒 吹十五秒 吹十五秒

**消防本部だより**

朝日町消防団秋季演習は十一月六日富山県消防課長を視察官に多数の来賓を迎へ深くすみわたつた秋晴れの快晴のもと午前八時団員整列により激闘活役に開始された。

式次第は型の如く進行、服装姿勢点検、機械器具の点検と順を追ひ、今季初めて実施された可搬式動力ポンプによる玉落し競技(実戦操作)に各分団かねて鍛錬の腕を競ひ、山崎分団が標的落下まで三〇、七秒と云う驚異的な記録で優勝した。



↑ 朝日町消防団秋季演習

朝日町議チーム ↓



**退職金共済開始**  
申込は朝日代理所(朝日町商工連合会事務局)を設けてありますから御照会下さい。

**自主防犯体制で**  
昭和三十四年もあつたわづかとなりました。冷たい師走風とともに盗みサギが増える時期です。家族そろつ

二位 大家庄分団  
三位 境分団  
次いで業務訓練に移り、泊三浦町東端附近から出火、北東の強風にあふられ中心街に飛火し第二、第三火災発生の際の想定のもとに全消防車による包圍立体的な防禦訓練を展開。  
続いて本部前通りで勇壮な分列行進を行い朝日町消防の健在を示し、再び公民館前に整列、表彰をうけ、山崎分団消防車に拡声設備一式を寄贈した山本与次氏に感謝状が授与され永年消防に尽し此の度退団された二十三氏に町長から感謝状、記念品の贈呈があり、優良消防団員として左の各氏が表彰を受け、正午、演習要項と一分の狂もなく演習を終了した。

**県知事表彰受彰者氏名**

野中分団	班長	沢本昭二
山崎分団	班長	水口忠雄
山崎分団	班長	青島幸治
境分団	班長	池田作一
境分団	班長	根建光一
宮崎分団	班長	岩井秀治
宮崎分団	班長	長谷川隆司
泊第一分団	班長	村口隆造
泊第一分団	班長	清原芳造
泊第二分団	班長	岡本一雄
泊第二分団	班長	松原達雄
五ヶ庄分団	班長	追分清次
五ヶ庄分団	班長	湯上健治
南保分団	班長	田中幸雄
南保分団	班長	谷口敬三
大家庄分団	班長	水野政夫
大家庄分団	班長	石井幸夫

**郡内町議の珍プレー**  
県下初ケースとして下新川郡内町議会議員の親善ソフトボール大会を郡内町議会議長主催で十月二十九日午前十時より当町小丸山球場で開催された。前日の雨にかわり当日は

**所得税についての御願ひ**  
申告所得税第二期分の納期は十一月一日から十一月三十日までです。納税は十一月三十日といわず早めに完納して下さい。御願ひします。  
一映画館等の入場券は、納税証紙です入場券の半片は必ず受取りましよう。  
魚津税務署

**郵便局からのお願ひ**  
○小包郵便物、印刷物(カレンダー)等かさ高郵便物はおそくとも十月二十五日までにお出し下さい。  
○標札は完全に提出して下さい。(文通される家族名、同居者名をも記入して下さい)  
○年賀状はなるべく二十三日までお出し下さい。  
○あて名はくわしく正確に必ず府県名(世帯主も必ず)を記入して下さい。  
○学生、子供あてのものについては父兄名をも記入して下さい。

**明るい歳末を**  
昭和三十四年もあつたわづかとなりました。冷たい師走風とともに盗みサギが増える時期です。家族そろつ

て新年を祝うためこれだけは守りましよう。

歳末に増える 盗み サギ  
歳末は多額の現金が取扱われま  
すが犯罪面でも昨年の統計に  
よると(昭33・11・12)

盗み 二〇件 さぎ 一五件  
乱暴 一〇件 おどし 六件  
とお金や酒の上での間違が二倍近  
くになつています。

又その内わけは  
盗み  
(1)留守を狙う五件 (2)寝しずまるの  
を狙う三件 (3)学校事務所を狙う三  
件 (4)支店を狙う二件

サギ  
(1)不渡り手形七件 (2)無銭で飲食三  
件 (3)無銭で宿泊二件 (4)小切手偽  
造一件

◇ねらわれ易い深夜に注意しよう  
事件は夜つづくと申しますが  
朝一件 午前二件 午後三件 宵三  
件 夜一四件 深夜一三件

となつています。  
特に盗みは深夜前までは夜が大半を占  
めています。

◇どろぼうはカギのない表支店から  
入つています。ではどろぼうは何  
処から入つているでしょうか。

表支店四件 横入二三件 窓三件  
カギがない七件 カギの掛忘れ一件  
と私達の隙を狙つて案に出入りし  
ています。

◇これだけでよいのだからか  
たしかに戸締りと貴重品やお金の  
始末に心をくばれば防犯の効果は目  
に見えて挙るでしょう。しかし大切  
なことは私達がお互に注意し合い助  
け合うことではないでしょうか。

一人々々の防犯が部落に成長す  
るとき元日の朝日のように輝く社会  
が建設されるのです。  
(入善警察署)

### 教育懇談会

十月二十七日午後一時半から泊中  
校講堂で、恒例の教育懇談会が開  
かれた。これは朝日町学校教育研究  
会PTA連絡協議会、教職員組合の共  
催で、町内各校下から熱心な父母教  
師約二百名が集つた。

協議会は現在最も切実な問題として  
考えられる生徒の進学就職、教職員  
の勤務評定の二つをとりあげた。  
先ず分科会がもたれて二つの協議  
について討議が進められ、続いて全  
体会議にうつり、さきに行われた教  
育に対する世論調査の発表と一般討  
議に意見が述べられた。その間講師  
として富山大学教授林三雄氏、県教  
組書記長長谷秀一氏、泊高校教諭田  
中寛秀氏から適切な助言があり最後  
に林教授の講演を聞いて五時終了し  
た町内各校下の父母教師が一堂に集  
つて各校下の実状を語り意見を交す  
ことは、父母教師の共通理解と協力  
を深め、朝日町教育の前進に有意義  
で收獲多いものであつた。

・生徒の進路指導について  
(1)生徒の個性能力に応じて進学就職  
を考へるべきで家や親のメンツに  
とらわれないように。  
(2)そのためには家庭内で親子がよく  
話合ふように。  
(3)今日の高校教育は昔の高等小学校  
のように誰でも学べるようにした  
い。

・教職員の勤務評定について  
父母に正しい批判をしてもらうた  
め教務側、教組側、中立側のパネ  
ル式討論をもち討議にうつる。  
(1)教師は聖職だからことへの影響  
を考へて慎重に行動されたい  
(2)教師は勤務評定についてことさら  
父母に話すことをさけていた傾向  
がある。大胆卒直に内容を話すべ  
きである。そして父母教師お互の  
理解が必要である。

・小川中学校の学園祭  
小川中学校では十一月七、八日校舎  
増築、グラウンド拡張記念の学園祭を  
催した。

秋晴れのもと、万国旗に飾られた校  
内は生徒をはじめ校下の人々であふ  
れ、学園を祝福する気分横溢、七日  
は記念式につづいて県農産課長寺田  
初夫氏の記念講演、朝日町農産物品  
評会授賞式が行われ、両日におたり  
学芸会、展覧会、品評会、さては産  
業教育を以てなる小川中学校の花弁  
楽焼即売が人気をよびPTA奉仕の  
食堂も大賑い。

校下の人々は春以来尊い汗の勤勞奉  
仕をした新校舎グラウンドだけに感慨  
と喜びはしお、農村にたち明日を  
になり若人を育てる小川中学校はこ  
の学園祭を機に更に一段と輝かしい  
将来を期待される。



### 泊小学校PTA

泊小学校PTAでは去る十一月十四  
十五両日に亘り県下初めての試みと  
して親と子供の作品展覧会を実施し  
たが部門は生花、洋裁、写真、文芸、  
絵画、彫刻に分けられ盛況であつた

親と子供の作品展覧会  
朝日町主催で十一月六日から八日  
まで小川中学校で開催されたが、受  
賞者は左の通り

三勝 大家庄地区  
昭和三十四年度 米作朝日一  
競技会受賞者  
一等 朝日町長賞、富山県農業会議  
長賞 反收四石五斗  
二等 不動堂 水井磯吉  
全 反收四石四斗四升  
反收四石三斗八升  
反收四石三斗八升  
道下 岩田嘉之  
全 反收四石三斗三升  
桜町 田中榮次郎  
反收四石五升  
桜町 広川喜章  
反收四石一升  
下山新 住吉啓二

第六回朝日町民体育大会  
十一月三日天候に恵まれ盛會裡に  
終了した、今年度も境地区が、宮崎  
地区と、接戦の末、五年連続優勝を  
飾つた。

優 勝 境地区  
次 勝 宮崎地区  
三 勝 大家庄地区  
二、〇〇米継走  
優 勝 野中地区  
次 勝 山崎地区

農林産物品評会  
朝日町主催で十一月六日から八日  
まで小川中学校で開催されたが、受  
賞者は左の通り

一等賞 玄米 堂用靖子 小林義正  
沢田信子  
柿山田克昌 山田知章  
伊勢芋 沢田すみ子  
人参 安達富治  
鶏卵 梅沢賢二  
二等賞 玄米 勝田ハナ 竹内健吉  
長井三郎 鍋島佐一 田中  
柿 大森直光 佐藤りつ子 田中  
勝宜 水野ます子 大森俊一  
ねぎ 石井順作  
かんらん 藤田由貴子  
ほうれん草 鍛冶征子  
玉ねぎ 住吉久雄  
鶏卵 長 紀義 山崎正夫 広田  
美智子  
三等賞 玄米 真部侑子 伊藤義雄  
折谷与四 広田頼子 吉田も  
もえ

小豆 藤井武夫  
大豆 大森武男 竹内正男  
ぞうり 大沼やい  
柿 水島勝利 森岡としを 岡田  
富二 水野鎮臣 山田国作  
篠田ぬい 沢崎タキ子

チエウリツブ 吉田数一  
りんご 高田一六  
くり 広田千昌  
大根 堂用秀雄  
里芋 清水正夫  
人参 安達靖男  
白菜 河端誠二 藤田由貴子  
馬鈴薯 竹内俊一  
ほうれん草 古田 茂  
鶏卵 大村秀雄 大村久司  
和紙 谷口富子  
エンシレージ 大森勇造 森岡元就  
木炭 白炭の部  
一等賞 長井宗五郎  
二等賞 北山由次郎  
三等賞 川合 長一  
黒炭の部  
一等賞 長崎 常吉  
二等賞 大蔵儀一 仙名叙次郎  
三等賞 上不常吉 末上外茂雄  
努力賞 米丘常次  
米丘五郎吉

昭和34年産米穀売渡実績調 34.11.20現在

地区別	予約数量	売渡実績	対前年度実績率	対今年度実績率
野中	4,914俵	5,526俵	112%	%
山崎	14,332	16,894	118	117
大家庄	31,195	32,795	105	110
大南	12,017	13,768	115	117
五箇	9,670	11,540	119	131
泊	6,581	8,026	122	123
笹川	1,581	2,118	135	126
宮崎	181	208	115	136
境	187	369	197	182
合計	80,650	91,244	113	

努力賞 米丘常次  
米丘五郎吉